

## **(議事要旨 2) 企業会計基準委員会の活動状況について**

まず、企業会計基準委員会（ASBJ）の紙谷副委員長より、日本基準の開発の状況について説明がなされ、質疑応答が行われた。続いて、ASBJの矢野委員より、国際対応の状況について説明がなされ、質疑応答が行われた。

### **日本基準の開発の状況**

ASBJからの報告について、企業会計基準諮問会議の委員から特段の意見は聞かれなかった。

### **国際対応の状況**

ASBJからの報告について、企業会計基準諮問会議の委員より以下の意見が聞かれた。

#### **(持分法について)**

- ASBJから、国際会計基準審議会（IASB）に現在再審議中の持分法会計に関するプロジェクトの方向性について重大な懸念を表明するための書簡を送付した件について、ASBJの一連の対応は、必要かつ適切な行動であったと考える。
- 持分法は支配の概念とは異なるという点は理解できるが、今回のIASBの議論では部分的な検討しか行われていないと考える。関連会社との取引の論点は、一行連結や他の基準との整合性を含め根本的な変更となる可能性があるため、持分法の全体的な検討をしたうえで議論すべき論点であると考え。引き続き、IASBの議論を注視していただき、適切な意見発信を実施していただきたい。
- 仮に現在再審議中の持分法会計に関する公開草案がそのままIFRS会計基準として公表された場合、我が国としてどのような対応を行うのかについて、早めに検討いただく必要があると考える。

以 上